

令和 8 年度 家屋図更新 特記仕様書

この特記仕様書は、標記業務における家屋データファイル及び棟番号図データファイルの作成並びに交換における詳細要件を定めるものである。

(家屋データの仕様)

第 1 条 本業務で構築される家屋データファイルは、以下の仕様を満たすものとする。

No.	データ項目名称	データ構造と入力仕様
1	家屋外形	①写真図から家屋外形を正確に数値化し、1 棟毎に一つの面を構成する。 ②図郭を跨ぐ家屋に関しては、図郭を境として分割することはせず、重心が所属する図面に所属させることにする。ただし、出力図においては図郭で分割された形で正確に描画する。 ③隣り合った家屋については、隣接する壁を共有するようノード、リンクに分割した上で、それぞれ独立した面を構成する。なお、棟割線については別レイヤーとする。
2	家屋補助線	①家屋の形状を把握しやすくするために付加情報として入力するものであり、線データとして入力する。 ②この線は家屋外形とは別レイヤーとし、家屋の面構成の要素とはしない。
3	家屋棟番号	①家屋棟番号は、家屋課税マスターと突合できるように同じ値とし、上記の家屋要素とは別レイヤーの文字データとして、互いに重ならないように配置する。 ②増改築された家屋の棟番号は、旧家屋を棟割線で分割し、それぞれに配置する。 ③文字列は原則として家屋面内に包含されるように入力することとし、家屋面が小さすぎて包含できない場合には、文字列の左下原点を包含させるようにする。 ④図郭に跨がる家屋に対する家屋棟番号はその家屋の中心が含まれる図面内に配置する。

(家屋データのチェック)

第 2 条 家屋データファイルの品質確保のために、以下のチェックを実施するものとする。成果品が前条の家屋データ仕様を満たしていることを保証するために、特に次のデータチェックを行うものとする。

No.	データ項目名称	チェック要件
1	家屋外形	①家屋面がすべて一つのレイヤーに包含されることをチェックする。 ②1棟毎に正確に面を構成していることをチェックする。 ③面に所属しない線データが存在しないことをチェックする。 ④図郭を跨ぐ家屋が二重に入力されていないことをチェックする。
2	家屋補助線	①すべてが線データとして同じレイヤー内に同じ線種、太さで入力されていることをチェックする。
3	家屋棟番号	①すべての家屋棟番号がいずれかの家屋面内に包含されることをチェックする。

(家屋データの交換形式)

第3条 本業務で構築される家屋データファイルを交換する際には、以下の交換形式によるものとする。

No.	データ交換目的	交換形式
1	作業中	Microstation-PC のデザインファイル形式によるものとする。
2	納品	Microstation-PC のデザインファイル形式及び（財）資産評価システム研究センター作成の「地番現況図・家屋現況図基準マニュアル」に準拠した形式（ただし、測地座標系は世界測地系（測地成果 2011 及び測地成果 2024））とする。